

## 『腱板断裂のリハビリテーション』

平成 30 年度の診療報酬改正において、“外傷性の腱板断裂”は上限除外対象疾患の一つに加えられました。このことは、肩関節疾患のリハビリテーションの中でも、腱板断裂という病態に対する治療の難治性を反映しています。特に腱板は加齢に伴う変性によって軽微な外的ストレスにおいても損傷を受けやすい組織です。腱板断裂の治療の一つに保存療法（運動療法）が含まれますが、病態の理解と断裂した腱板機能に代わる肩関節機能も理解し、運動療法に臨む必要があります。

本講習会は、腱板断裂の中でも、重篤な広範囲断裂（保存）症例の上肢挙上における筋電図や動態解析データを健常者と比較しその結果から、導き出された保存症例における肩関節への代償的な機能とは何か？そして、その新たな機能を獲得するための具体的な運動療法について理解を深めていく内容です。

### 本講習会のプログラム

健常者と腱板断裂症例間の肩関節機能の違い（座学）

腱板断裂保存症例のリハビリテーション評価（座学・触診・実技）

腱板断裂保存症例のリハビリテーションの実際（実技）